



幹線道路整備

公民館新築

消防署分署建設

文化振興

報告書

個性や特性を生かした魅力的なまちづくり

平成18年度 決算

昨年度の各会計決算が監査委員の審査を経て、9月に開かれた第3回市議会定例会で認定されました。その概要についてお知らせします。

なお、本市ホームページにも詳しい資料を掲載していますので、ご覧ください。

問い合わせは財政課☎890-6542へ。

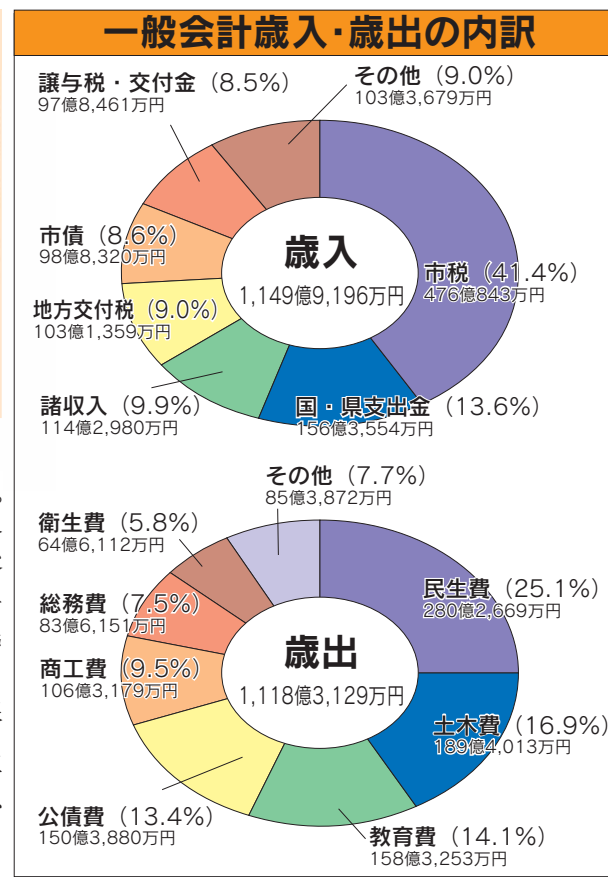
決算概要

一般会計決算額の歳入歳出総額は、歳入が1,149億9,196万円、歳出は1,118億3,129万円、差引額は31億6,067万円の黒字。これから19年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は29億9,650万円の黒字となり、このうち20億円を財政調整基金へ積み立てました。前年度の実質収支額との差額で表す単年度収支は、1億5,959万円で3年連続の黒字です。

なお、市債残高(借入金残高)は、約23億円減の1,375億円余りとなり、平成16年度からの3年間で約90億円の縮減を行うことができました。

一般会計

主な財政改革として、収入面では、市税の滞納額縮減や収納率の向上を図るために、財産差し押さえや動産公売などの強化、軽自動車税のコンビニエンスストア収納を開始。本市ホームページへのバナー広告や窓口用封筒の広告掲載など、広告収入の確保にも努めました。支出面では、35人の職員削減、対象経費見直しによる補助金の縮減、公共施設の指定



特別会計

国民健康保険
加入者の皆さんの健康を保持するため、適正な保険給付を行うとともに、人間ドックの補助などの保健事業を推進しました。

老人保健
高齢社会に対応し、高齢者の健康保持を図るため、老人医療費の適正な支出に努めました。

競輪
寛仁親王牌競輪などを開催するとともにグリーンドーム前橋建設費の

企業会計

水道事業
第六次拡張事業、既存施設整備事業などの施設改良事業を中心とした施設の整備・拡充と適正な維持管理に努めました。

下水道事業
生活環境の改善、河川の水質保全を図るために、下水道普及率の向上を目指し、施設整備・拡充を行いました。

農業共済事業
農業災害補償法に基づき、農家の自主的な相互扶助を基本に、災害による農家の損害を補てんし、農業経営の安定と生産力の向上を図るため、各種共済事業に取り組みました。

管理委託による管理経費縮減を図るなど、行財政改革の推進に努めました。

企業会計決算			一般会計・特別会計決算		
会計名	歳入	歳出	会計名	歳入	歳出
水道事業	74億6,146万円	93億5,330万円	一般会計	1,149億9,196万円	1,118億3,129万円
下水道事業	95億5,254万円	117億6,340万円	国民健康保険	293億5,749万円	283億7,990万円
農業共済事業	5億9,257万円	5億6,089万円	老人保健	268億7,190万円	264億9,773万円
合計	176億657万円	216億7,759万円	競輪	269億4,105万円	263億2,276万円
			農業集落排水事業	10億6,196万円	10億6,071万円
			介護保険	161億3,762万円	152億8,862万円
			簡易水道事業等	3,583万円	3,479万円
			小計	1,004億585万円	975億8,451万円
			合計	2,153億9,781万円	2,094億1,580万円

※金額は1万円未満を整理しています。
※水道事業・下水道事業・農業共済事業の歳出は、現金支出を伴わない減価償却費を含んでいます。